

図書館の基礎

青柳 英治（明治大学文学部）

アウトライン

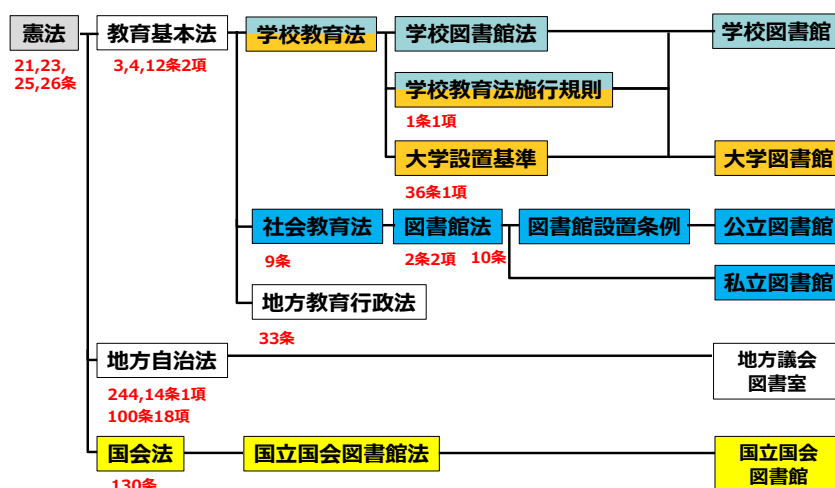
- 1.自己紹介
- 2.図書館とは：法律、理念
- 3.図書館に関する法体系と種類
- 4.図書館の組織上の位置づけ
- 5.図書館サービスの変遷
- 6.図書館職員の状況
- 7.コロナ禍における図書館サービスの状況
- 8.まとめ

1.自己紹介

2.図書館とは：法律、理念¹⁾

- ・ 図書館法 第2条1項
- ・ 図書館の自由に関する宣言
- ・ ユネスコ公共図書館宣言
- ・ 図書館学の五法則

3.図書館に関する法体系と種類²⁾

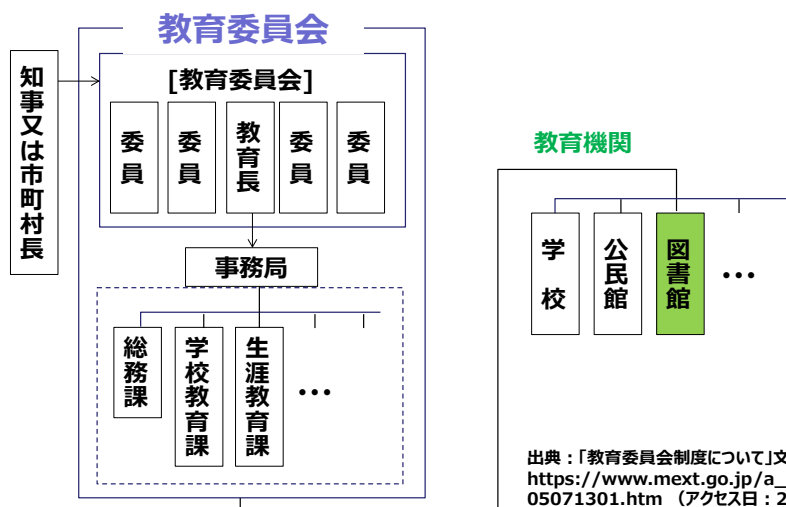


出典：参考文献 2)①p.13. 2)②p.6.をもとに発表者作成

- ・ 図書館法の構成
 - ・ 第1章 総則
 - ・ 第2章 公立図書館
 - ・ 第3章 私立図書館

4. 図書館の組織上の位置づけ³⁾

- ・ 教育委員会の組織イメージ



5. 図書館サービスの変遷⁴⁾

- (1)1960年代：中小図書館の運営・サービス指針の確立
- (2)1970年代：図書館サービスの伸展
- (3)1980年代：機械化の進展とサービス対象者の拡大
- (4)1990年代：ICTを活用したサービスの充実
- (5)2000年代以降：課題解決支援サービスの展開

6. 図書館職員の状況⁵⁾

- ・ 「図書館員の倫理綱領」
- ・ 図書館職員に求められる資質・能力

・公立図書館の雇用形態別職員数の推移 単位：人

雇用形態	2009年	司書率	2019年	司書率	職員数の増減率
正規職員（専任・兼任）	13,948		10,897		-21.9%
うち司書・司書補	6,562	47.0%	5,275	48.4%	
非常勤職員	7,800.3		10,049.7		+28.8%
うち司書・司書補	5,170.4	66.3%	6,758.0	67.2%	
臨時職員	7,453.2		6,952.8		-6.7%
うち司書・司書補	2,721.4	36.5%	2,759.2	39.7%	
委託・派遣職員	5,833.7		13,506.8		+131.5%
うち司書・司書補	3,062.8	52.5%	7,972.9	59.0%	
合計	35,035.2		41,406.3		+18.2%
うち司書・司書補	17,516.6	50.0%	22,765.1	55.0%	

出典：『日本の図書館：統計と名簿』2009、2019 日本図書館協会。各年4月1日現在
 非常勤、臨時、委託・派遣職員は、年間実働時間1,500時間を1人として換算。
 私立図書館の人数を除く。

・多様な職員の雇用形態

7.コロナ禍における図書館サービスの状況

(1) 県立図書館の状況 ⁶⁾

(2) 実施された対応の種類

①新型コロナウイルス感染症についての情報提供

②事前に予約を受けた図書の貸し出し ^{7), 8)}

③子ども向け図書セットの貸し出し ⁹⁾

④自動返却機、図書消毒機の設置

⑤新しい移動図書館車の導入 ¹⁰⁾

⑥紙芝居、昔話の実演動画をインターネットで配信 ^{11), 12), 13)}

⑦電子書籍の貸し出し ^{14), 15)}

※公共図書館の電子書籍貸出サービスの動向（電子出版制作・流通協議会調べ）¹⁶⁾

※電子書籍の課題 ¹⁷⁾

※2021年5月26日「著作権法の一部を改正する法律」が第204回通常国会で成立、6月2日に公布。¹⁸⁾

⑧国内外の雑誌を館外にて無料で読める電子雑誌閲覧サービス ¹⁹⁾

⑨本の朗読を電子端末で聞ける「オーディオブック」によるサービス ²⁰⁾

⑩ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用した図書館員おすすめ本の紹介

²¹⁾

8.まとめ

- ・図書館とはどのような機関であるのかを、図書館法と理念を示した文書等から理解してください。
- ・館種ごとの図書館関係法規を、具体的な条文も含めて体系的に捉えた上で理解してください。
- ・図書館が組織上どのように位置づけられるのかを理解してください。
- ・1960年代から2000年代における図書館サービスの変遷を理解してください。
- ・図書館を取り巻く多様な雇用形態と運営状況を理解してください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、図書館サービスがどのように変化したのかを把握の上、役立ててください。

参考文献

- 1) ①日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会編『図書館ハンドブック』（第6版補訂2版）日本図書館協会,2016,p.64-65./②日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編『図書館情報学用語辞典』（第5版）丸善出版,2020,p.247./③高山正也, 岸田和明編著『改訂 図書館概論』樹村房,2017,p.116-117.
- 2) ①糸賀雅児, 葉袋秀樹編集『図書館制度・経営論』樹村房,2013,p.12-15,18-30,p.35-42./②安藤友張編著『図書館制度・経営論』ミネルヴァ書房,2013,p.4-8.
- 3) 2)①,p.120./2)②,p.55-57./③文部科学省「教育委員会制度について」https://www.mext.go.jp/a_menu/chihou/05071301.htm(アクセス日:2021.1.10)/④文部科学省「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（社会教育関係抜粋）（概要）」https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2019/06/07/1417797_2.pdf(アクセス日:2021.1.11)
- 4) 1)①,p.65-67./ 1)②,p.80,97. /2)①,p.84-85./①高山正也, 村上篤太郎編著『改訂 図書館サービス概論』樹村房,2019,p.28-44.
- 5) ①これからの図書館の在り方検討協力者会議「図書館職員の研修の充実方策について（報告）」文部科学省,2008 https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/teigen/08073040.htm(アクセス日:2021.1.11)/②山縣宏寿「図書館非正規職員と会計年度任用職員制度」『図書館雑誌』114(7),2020,p.354-357./③2)① p.196-201.
- 6) 和田聖子「コロナ禍における岐阜県内の公立図書館の取り組み」『日本生涯教育学会年報』41, 2020年,p.299-310.
- 7) 「クルマで本を借りる？ ドライブスルー図書館が誕生 利用実態はどうだった？」<https://kuruma-news.jp/post/257262> (アクセス日:2021.5.10)
- 8) 「相模原の図書館 郵送で貸し出し」『朝日新聞』2021.4.23,神奈川県,p.24.,「津高図書館が優 秀賞 コロナ休校中の活動、評価 ライブラリー・オブ・ザ・イヤー／三重県」『朝日新聞』2021.10.5,三重県,p.23.
- 9) 前掲6)
- 10) 「車外で本選べる移動図書館新車 宇佐市がコロナ対策」『朝日新聞』2020.12.19,大分県,p.29.

- 11) 「紙芝居の動画、ネットで配信 宝塚市立図書館／兵庫県」『朝日新聞』2020.5.8,阪神,p.21.
- 12) 前掲 6)
- 13) 前掲 6)
- 14) 「(青鉛筆) 全国初、公立の子ども電子図書館がオープン 北九州市【西部】」『朝日新聞』2021.4.17,p.28.
- 15) 「ようこそ、電子図書館 県内で解説広がる コロナ禍「読書環境を一新」／広島県」『朝日新聞』2020.9.3,広島,p.21.
- 16) 植村八潮,野口武悟,電子出版制作・流通協議会編『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2020』樹村房,2020,p.63,195-196.
- 17) 「(リポート岐阜) コロナ禍の図書館、電子書籍に力 パソコン・スマホで「返却」も自動／岐阜県」『朝日新聞』2021.3.8,岐阜全県,p.29.
- 18) 「令和3年通常国会 著作権法改正について」文化庁
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/r03_hokaisei/ (アクセス日：2021.11.2)
- 19) 「国内外の雑誌、スマホで閲覧 きょうからサービス試験導入 高知・2 図書館／高知県」『朝日新聞』2021.7.1,高知全県,p.17.
- 20) 「読書、来館せずに楽しんで オーディオブック・電子図書、開始 大津市立図書館／滋賀県」『朝日新聞』2021.2.4,滋賀全県,p.21.
- 21) 前掲 6)